

# 各プロジェクト研究等と連携した東日本大震災からの 復興対応等の観点からの各種課題に関する研究 (所内プロジェクト)

## 1. 研究目的

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は東北地方を中心に甚大な被害をもたらすとともに、間接的なものを含めて全国各地にさまざまな影響を及ぼしている。この震災により我が国の食料基地として重要な地位を占める東北の農山漁村地域は広範囲にわたって被災し、農業生産活動や地域生活に大きな影響を与えている。今後の我が国の食料の安定供給や農山漁村地域の活性化を図る上で、被災地域における農業の再編、集落コミュニティの再生、6次産業化の推進などその復興に向けた取組みが極めて重要かつ喫緊の課題となっている。

このため、各プロジェクト研究等と連携しつつ、今回の被災地域における復興後の地域農業の再編、担い手の確保のあり方、集落コミュニティの再生、地域外との協働・連携に向けた課題等を整理する。また、多様な消費者ニーズに対応して地域の農産物を活用した生産・加工・流通の一体的取組を進め、付加価値を増やす6次産業化の推進のためのビジネスモデルの構築や災害に強い地域として再生する観点からのバイオマスエネルギー等の再生可能エネルギーの積極的導入方策に向けた検討を行う。

## 2. 研究内容

### (1) 地域農業の再編

過去における被災からの復興事例や大区画圃場整備事業実施地域における担い手の確保状況の分析等により、東日本大震災の被災地における復興後の地域農業の再編、担い手の確保に向けた課題を整理する。

### (2) 地域コミュニティの再生

過去における被災からの復興事例の比較分析等により、東日本大震災の被災地における地域資源、集落コミュニティの再生、そのための地域外との協働・連携に向けた課題を整理する。

### (3) 6次産業化の推進

6次産業化の先進事例や他産業で成功したビジネスモデルを比較分析し、東日本大震災の被災地域をはじめとして地域の特性を活かした6次産業化の推進に向けてのビジネスモデルを構築する。

### (4) バイオマスエネルギー等の導入

被災地域におけるバイオマス等の再生可能エネルギーの積極的導入に向け、バイオマスエネルギーを中心に地域内経済循環やエネルギー自立の可能性評価手法の開発及び評価を行う。

## 3. 研究成果の活用方法

東日本大震災の被災地域復興対策の検討に活用する。